



混陽

第 55 号

平成 29 年 12 月 1 日
書道研究 混陽会

〒524-0037
滋賀県守山市梅田町 1-7
(守山駅西口から
北へ約 100m)
URL: <http://www.kouyoukai-sho.com/>

編集人：改発蒼風



九月二十二日～九月二十四日 第三十八回 混陽書道展 開催

九月二十二日から九月二十四日にかけて大津市歴史博物館 企画展示室 A にて第三十八回混陽書道展を開催致しました。

今年は、三日間という例年よりも短い会期ではありましたが七三九名の方にご来場いただきました。また、九月二十四日には授賞式を行いました。

授賞された方々にコメントをいただきました！

◆ 滋賀県知事賞

守山駅前教室 古川圭翠

この度は、知事賞という大きな賞をいただきました。思ってもみなかった事でしたので、とても驚きました。ここ二、三年前より足腰が不調で、残念ながら作品展にも以前の様な大きな作品から遠のく様になり、小字作品を出品することとなりおりました。冊子、折り帖そして今年後半切物に挑戦いたしました。

さて、どんな作品にと考えておりましたところに、たまたま四歳になる孫が口ずさんでいた詩が「縦の糸はあなた、横の糸はわたし」この歌詞に

惹きつけられて書きあげたものでした。好きで始めた書の道でしたが、作品づくりも、もうこれ迄の様には長時間書き続けたり、不安定な姿勢も簡単ではなくなってきた、そろそろ引き時なのかと考えてみたりもしておりましたが、今回の賞が大きな励みとなりました。仲間の皆さんもわざわざ一人一人がお祝いの声をかけて下さり、まわりには沢山の温かいお気持ちの仲間が一緒なのだと思っても思いました。もうしばらく無理をせず頑張ってみようかと心新たにしたいところです。

◆ 滋賀県知事賞

木浜教室 中井梨紗

今回の展示会で滋賀県知事賞という大きな賞をもらえた事、とても嬉しく思っています。でも、その滋賀県知事賞という賞をもらえたのは自分の力だけではないと思っています。賞をもらった時に一番に思ったことは、嬉しいはもちろんですが、感謝の言葉を示す「ありがとう」という言葉が頭に浮かびました。いつも書道を教えてくださる先生、送迎をしてくれている母、家族の為に頑張ってくれている父。私は、そんな人々に支えられて書道を出来ている事をちゃんと心に留めて、賞をいただいた喜びをバネにこれからも良い字が書けるように努力していきたいと思えます。

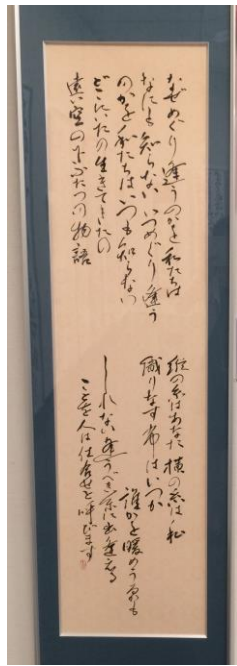
◆ 滋賀県教育委員会教育長賞

守山駅前教室 日下部雅苑

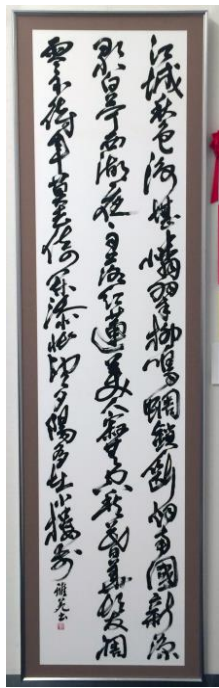
「ありがとうございます。・・・続けて良かった。」まさかこのような賞を頂けるとは、夢にも思っておりませんでした。発表を聞いた時、「続けて良かったです。」これが偽らざる心境でした。

昨年の春から、それまでのパート的勤務から、

週休二日の終日フル勤務。それに加えて、この四月からはセンター長という目に見えない大きなプレッシャー。書道に向かう時間もなかなか取れず、ただ辞めたくないから続けようという消極的な目標でやってきました。辞めたくないという気持ち、そう思えるのは、中川師範という遠い大きな存在と師範の元なら大丈夫という感覚、そして共に励まし合いながら書に向かう仲間、その存在が大きいと感じています。まだまだ先はどこまでも、だからこそ、書に向かえる環境に、又指導頂く先生方に感謝しながら、これからも続けていきたいと思えます。ありがとうございました。



→ 古川圭翠



→ 日下部雅苑

◆ 滋賀県教育委員会教育長賞

蒲生教室 川島莉乃

私は、滋賀県教育委員会教育長賞に選ばれてとても嬉しかったです。去年は、努力賞という一番下の賞に選ばれたけど、今年は上から二番目の賞に選ばれて本当にすばらしい事だと思えました。私は初めて行書で「花鳥風月」と書きました。「花鳥風月」の中で一番苦戦したのは「風」です。「風」の形を考えて書くのが難しかったです。でも、先生がやさしく丁寧に分かりやすく教えてくれたおかげで、いい賞に選ばれました。次は、一番いい賞に選ばれるように、頑張りたいです。

◆ 滋賀県芸術文化祭奨励賞をいただいて

守山駅前教室 井上照華

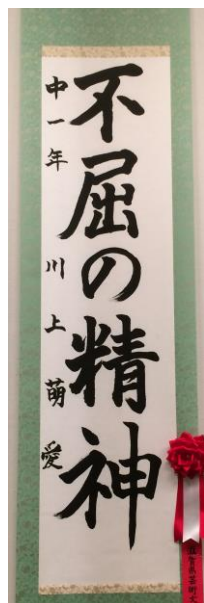
このたびは、大変すばらしい賞をいただき、お礼申し上げます。

昨年は、私にとって特に苦しい一年でした。思うように書けず、結果も出すことができませんでした。結果だけではないと、中川先生より励ましの言葉をいただきましたが、やはり自分の力を確認できる一つの機会に、結果が出せないということとほつらいものがありました。私の気持ちはどうしようもなくなつた時、いつも思い浮かんだのは、「私を信じてがんばりなさい」と言ってくださつた中川先生の言葉です。うまくいかないと思つた時、中川先生のおっしゃるとおりやっつけていけばいいと自分に言い聞かせております。

安居会長をはじめ、親切にいろいろなことを教えてくださる先輩の先生方、本当にまじめで努力家の混陽会のみなさまのお蔭で、いつも頑張つていけると感謝いたしております。今後ともご指導よろしくお願いいたします。



→ 井上照華



◆ 滋賀県芸術文化祭奨励賞

蒲生教室 川上萌愛

この度は、すばらしい賞を頂き本当にうれしく思っております。そしてたくさんのおほめの言葉ありがとうございます。今回こんなすばらしい賞をいただく事が出来たのは、指導してくださつた先生のおかげだと思えます。私が書道を習い始めたのは、文化祭の作品展でも美しい作品を見て、私もこんな美しい字が書けるようになっていと思つたのがきっかけでした。今回作品展で数々の美しい作品を見て、本当に感動しました。私は今まで、きれいに書くということしか頭になつたのですが、色々な作品にそれぞれの思いが込められていました。書というのは、ただ美しく書くだけでなく、その言葉に対して思いが込められているかということも大切なんだと改めて感じ

ました。これからは、いろいろな方々に感動を与えられるそんな作品を目指して日々努力していきたいです。

◆大津市長賞を受賞して 大萱教室 山本悠
中学生最後の年に大津市長賞を頂き、ありがとうございます。

小学生のころから書道が続けてきて、このよう大きな賞を頂いたことがなく、初めてとても驚きました。そして、今回の受賞で自分の字に自信を持つことができました。今回の作品展で賞を頂いたのは、熱心に指導していただいた先生のおかげです。ありがとうございます。

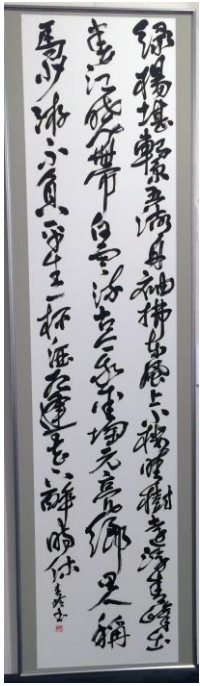
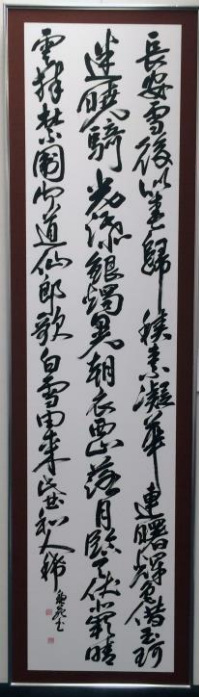
今後この賞に恥じないように、練習に励んでいこうと思います。

◆大津市教育委員会教育長賞

遊雪守山教室 龍後遊汀

今回は、このような栄えある賞を頂き有難うございました。まさか自分の作品を選んで頂けるとは思ってもいませんでしたので、唯々驚くだけでした。混陽会に入会させて頂いてからというもの、中川先生や安居会長、井狩先生、混陽会の皆様から沢山のご指導を頂き、さまざま貴重な経験をさせて頂きました。このような賞をいただけましたのも皆様のお陰です。

私の課題は、ご指導頂いたことを、一つ一つ出来る様にすることです。なかなか直ぐにはいかず、その度に書道の奥の深さと道のりの長さに圧倒もされますが、諦めずこつこつと練習していきたいと思います。最後になりましたが、このような晴れがましい機会を与えてくださった中川先生、安居会長、井狩先生、混陽会の皆様から感謝致します。今後の励みとなりました。本当に有難うございました。



◆守山市長賞を頂いて

守山駅前教室 星野穂苑

此の度「守山市長賞」を受賞させて頂きました事、大変光栄に思っております。

中川翠玲先生の門下に入り約七年が経ちました。「書く」のではなく「描く」ということなのだと思し、又その難しさに悩み続けてきた年月でした。緩慢な進歩に憂えつつも、まだまだ成長を目指す私自身を褒めながら次の目標に向かってこれからも頑張りたいと思っております。

中川先生、諸先輩の皆様これからも御指導よろしくお願いいたします。

◆守山市教育委員会教育長賞

守山駅前教室 笹谷遥

手紙がきて、わたしが「守山市教育委員会教育長賞」をとったと知ったとき、夢をみているのかと思えました。でもそれが現実だなんて、心ぞうがとびだしそうなほどうれしかったです。習字を習い始めたのは二年前・三年生の九月です。毎週毎週、筆もこう筆も一画ずつ集中して書き、どんどん上手くなっていくのが一番のうれしさでした。あれから二年。まさか「守山市教育委員会教育長賞」という、見たことも聞いたこともない賞をとれたなんて、夢にも思っていなかったことです。

来年は、もっともっと、今年の十倍ぐらいがんばって書いて、「守山市教育委員会教育長賞」よりすてきな賞をとる、というのがわたしの目標です。だから、これからも習字を一生けん命がんばりたいです。

◆野洲市長賞をいただいて

守山駅前教室 西村春玲

五十の手習いで始めた書道。今回このような賞

を頂いて驚きと喜びでいっぱいです。大人になつて賞を頂くことには、縁がないと思つていましたので本当に感謝致します。今までなかなか上達せずにもどかしい気持ちでしたが、中川先生のご指導と励ましのおかげで何とかやって来られました。今後も努力を忘れずにもう少し続けていこうかなと思ひました。諸先生方や混陽会の皆様にも優しい声かけをしていただけて心から感謝しております。ありがとうございます。

◆野洲市教育委員会教育長賞

守山駅前教室 新谷翠月

今年はお手伝いに入る教室で『先生は書かんと自分ばっかり』と言われ、ならば私も頑張つてるところを！と思ひ、色んな教室で書かせて頂きました。平仮名のまじり書は、色んな年代の生徒さんに関心を持ってもらえて、辞書のこの字の方がカッコいいで先生！と薦められ書き方を変えたり、たくさんの先生と生徒さんのアドバイスに支えられた楽しい作品での受賞になりました。紙面に対する時はひとりでも、たくさんの人がいての自分の書なのだという気持ちを忘れず、これからも精進していきたいです。

◆近江八幡市長賞を受賞して

文英学院教室 園田大陽

ぼくは、小さい頃から習字を習っています。最初はあまりうまくなく、墨でよく手にらくがきをして遊んでいました。集中出来ず、すぐに休んでいて、先生に「早よ、書きや」と言われることもありました。そんな僕も小学校高学年になった頃、一度賞をもらい、がんばろうという気持ちが多くなりました。中学生になって、部活で教室に来るのが遅くなつても先生は待つてくれてるし、ダメな所は「この字はもっとこうした方がいいんじ

やないか。」という事をちゃんとやってくれる先生に感謝しています。これからももっとうまくなるように努力します。

◆近江八幡市教育長賞

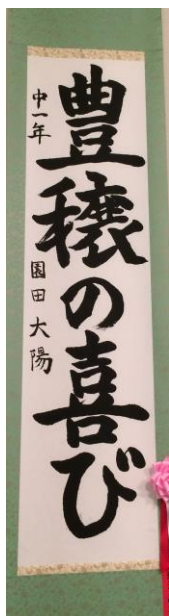
石寺教室 川村咲子

この度、作品展にて受賞させて頂きありがとうございます。吉報に只々驚き又とても嬉しく思つております。

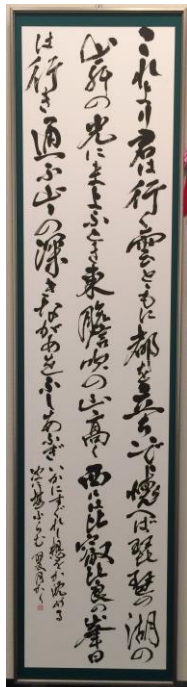
今回初めて隷書にとり組みました。字形の趣ある美しさにひかれ一度チャレンジしたいなあと思つていました。逆筆で入り蔵鋒、波磔という書法に苦戦しながらも、楽しく書く事の大切さを実感出来たと思ひます。今後ますます精進し、日々努力してまいります。最後にいつも熱心な御指導を下さいました井狩先生、貴重なアドバイスを与えて下さる先輩方、互いに切磋琢磨して、刺激しあえる仲間に関心感謝致します。本当にありがとうございました。



→ 川村咲子



→ 新谷翠月



第三十八回 混陽書道展 授賞者

- 滋賀県知事賞 古川圭翠 中井梨紗
- 滋賀県教育委員会教育長賞 日下部雅苑 川島莉乃
- 滋賀県芸術文化祭奨励賞 井上照華 川上萌愛
- 大津市長賞 山田翠陽 山本 悠
- 大津市教育委員会教育長賞 龍後遊汀 上田華暖
- 守山市長賞 星野穂苑 大黒叶乃
- 守山市教育委員会教育長賞 平山桃翠 笹谷 遥
- 近江八幡市長賞 橋本翠遊 園田大陽
- 近江八幡市教育長賞 川村咲子 式部あかり
- 野洲市長賞 西村春玲
- 野洲市教育委員長賞 新谷翠月
- 読売新聞大津支局長賞 松原葉乃 金中萌音
- 京都新聞賞 山田馨泉
- BBCびわ湖放送賞 太田凌斉 青山蘭翠
- 日本習字教育財団理事長賞 平井太喜 平尾かな
- 前田祐香 野口美咲
- 八木 愛
- 呉竹賞 内田知子 榎本結香 栗山香葉
- 墨蓮堂賞 中井真緒 平尾この 伊藤有紀菜
- 奨励賞 福家歩未 河上怜加 山内 旬
- 優秀賞 堤 結希 池内佑衣 志井萌乃果
- 小森加蓮 加藤歩夢 谷川実優
- 八木優歌 有吉 愛 辻日菜子
- 藤本心南
- 児山叶恩 八幡晃太郎 林 咲穂
- 田邊楓健 住友 結 中村有純
- 澤田 蕾 野口夏芽

おめでとうございます！



混陽書道展 風景



おめでとうございます！

■ 八段位合格者名（七月実施）

久野部教室	中 3	硬筆	山本彩乃
		毛筆	堤 結希
守山駅前教室	中 2	硬筆	佐伯祥子
湖城教室	中 2	毛筆	立川由華
日吉教室	中 3	毛筆	吉田郁未

◎生徒部八段位を合格された方の中から、今回お二人の作文課題を掲載させていただきます。

わたしと習字

久野部教室 中三 堤 結希

私が習字を習い始めたのは、小学校四年生のころです。母に勧められたのがきっかけでした。習い始めたとき、私はひらがなの「を」という字がとても苦手でした。でも、だんだん練習していくと、上手になっていき、先生や母にほめられるようになりました。級もどんどん上がっていき、いっつもわくわくしながら書いていました。ところが、しばらくすると、以前のように段が上がらなくなってきました。また、中学に入学し、勉強と部活動の両立がむずかしくなり、テスト前には教室に行けないこともよくありました。それでも、先生が「忙しいときは、無理して来なくてもいいよ。」と言ってくれたので自分のペースで練習することができ、段も少しずつ上げていくことができました。

私は、一度だけ習字をやめることも考えましたが、今では続けていて良かったと思います。なぜなら、きれいな字は、自信につながるからです。学校の作品展や市の美術展などで選ばれたりすると、とてもうれしく、これからはがんばろうと思えるからです。また、学年、学校がちがう人と友人になることができ習字教室は美しい字を学ぶと

ともに、普段会うことのできない人と会える場所になりました。

これからも、教えてくださる先生や、支えてくれる家族に感謝して、今よりもっときれいな字が書けるようがんばっていきましょうと思います。

わたしと習字

日吉教室 中三 吉田郁未

私は、今、家族が習字教室に通わせてくれて、本当によかったと思っています。習字は字をきれいに書くには、集中力が大切になってくるとおもいます。習字を長く続けていると字もきれいななるし、集中力も上がっていると感じました。それは普段の生活でも重要なことなので、習字は字がきれいになるだけでなく、生活での大切な力もつけられると思います。

私は、中学校の部活も書道部で、友達とおたがい段が上がるよう取り組んでいます。習字は段が上がったり、賞をもらえた時、達成感があり、先生や家族、仲間と喜びを共有し、「ここをこうしたらもっとよくなるよ」とかいろいろアドバイスをもらうことで自分の成長につながっていきます。常にうまくいくのではなく、自分の書いた字に納得がいけないこともあります。とくに段が上がるにつれて多くなっています。でも、自分でそれを乗り越えることでさらに成長できます。なので自分の字としっかり向き合って書くことが自分の成長の鍵になると思います。

私は将来、ずっと習字を続けて、自分のスキルを上げていき、習字の先生になることを目指しています。先生になって、習字で学べる事、自分の成長につながるということを教えていきたいと考えています。そのために今、自分のやるべきことにしっかり取り組んで、家族（亡き母やまわりの先生や仲間）に感謝して、しっかり頑張っていこうと思います。

■ 読売紙上書道滋賀展 結果

- ◎ 大萱教室 佳作 小三 小牧 彩
- ◎ 蒲生教室 佳作 小五 前田憲昇 林 琉以
- 小六 古澤心唯
- 中一 湯口晃多
- ◎ 文英学院教室 佳作 小二 澤田 蕾
- 小三 加藤歩夢 西山比菜
- 小四 田中陽依
- ◎ 城北教室 三席 小三 式部あかり
- 佳作 小三 宮本千結
- 小六 岸本亜子
- 中二 宮本萌生
- ◎ 立田教室 佳作 小三 木村遼蒼
- ◎ 西今教室 佳作 小四 伊藤遥菜
- ◎ 松原教室 佳作 小三 竹腰彩花

日展入選 おめでとうございます！

中川翠玲
富田蒼月



定期講座

■ 古典講座に学ぶ 蒲生教室 織田蒼雪

王鐸の臨書に取り組んでいる私にとつて、今年度、王鐸を課題に学べることは、何より嬉しいことです。毎回、筆の持ち方からスタート。先生からいただくお手本を宝物に、一緒に学ぶ先輩の方々と共に、黙々と練習に励んでいます。(まるで小学生にもどったような気分です。)日々、二尺八尺や半切の紙に太筆で練習している私には、細めの筆で、八つ切りサイズの紙に書くことは、とても新鮮であり、良い勉強になります。(実際は悪戦苦闘です。)中川師範がいつもおっしゃるよう、この講座で学んでいることが、日頃の作品作りに生かせるよう、気を引き締めて学んでいきたいと気持ちを新たにしています。

■ まほろば講座 守山駅前教室 藤田瑞有

今年の「まほろば講座」は全六回ありました。井狩遊雪先生ご指導のもと、楷・行・草・三体の臨書や半切、古筆、調和体などの作品作りに取り組みただけでなく、普段教室では学べない書の歴史や基礎知識を分かりやすく学ぶ事ができました。特に調和体は、初めての挑戦でしたが、楽しくのびのびと書く事ができました。こういった経験や知識を活かして、これからの作品作りに挑み続けようと思います。

定期講座 講座発表会

(古典・古筆・調和体講座)

場所・野洲市図書館ギャラリー

期間・二〇一八年一月十九日(金)

一月二十五日(木)

教養講座

◆ 和綴じ講座

講師・古川圭翠先生

九月十七日、混陽展で展示する臨書作品を持ち寄り、和綴じしました。



◆ 墨彩画講座

講師・久田萌玉先生

(十月二十九日)

最初、二種類の濃淡の書き方を教えていただき、瓢箪を描きました。

「瓢箪は、いろいろな形があるので、初めての人も味のある絵になりますよ。」(確かに)

次は、いよいよ秋の味覚(?)柿に挑戦。実やへた・枝・葉など、ひとつ一つ丁寧に教えていただきました。難しく大苦戦!「絵の中に、一つでも上手に描けているところがあれば、絵全体が良くみえます。」など、先生のお話に耳を傾けながら描いていくうちに時は過ぎ、なんとか完成。絵を描くことに夢中になれた、貴重なひとときでした。



◆ 細字講座(十月八日)

講師・下村荘香先生

「智永真草千字文」を勉強しました。

今回、受講者の方々にアンケートにご協力いただきましたので、ご紹介させていただけます。



今回細字講座に参加された七名の方の中には、細字に苦手意識を持つ方もおられました。中には細字試験対策として参加された方もおられ、筆の持ち方から動かし方、バネの利かせ方などを教えていただけで大変良かったですとの感想を多くいただきました。

《智永について》

何歳の時は明らかではないが、智永は兄と共に家を捨てて僧となり、呉興の永欣寺に住んだ。書を好み、もっぱら祖先の王羲之の筆法を学んだ。ある時、居所の傍に楼(二階建ての建物)を建て、「書が上手になるまでは、決してこの楼から降りない」と誓いを立て、それからおよそ三十年間この楼上にこもり、書の勉強に励んだという。その間に、穂先がすり切れて使えなくなった筆を、一石約六十リットル)も入る大きな竹の箱に入れておいたところ、五つの箱いっぱいになったという。このようなたゆまぬ努力の結果、智永の書名は広まり、彼の書や題額を請う者が多数おしかけるようになった。

教室紹介

＊おほりばた教室＊
講師…引間京華先生



おほりばた教室は近江八幡市の旧市街、八幡山のふもとのお堀沿いにあります。時々、観光の手工藝舟が行き来する様子が見えたりするような、風光明媚な場所で教室を運営させていただいています。生徒さんは、下は六歳児さんから、上は昭和六年生まれの八十六歳まで、成人三名、子どもさん四名の合計七名が来られています。女性ばかりで、わいわいと、にぎやかに練習しています。子どもさんにとっては、おかあさんというよりもおばあちゃん、ひいおばあちゃんぐらいの年齢にあたります。成人の生徒さんにとっては、子どもから孫、ひ孫さんの年代です。いい作品が書けたときにはお互いに褒め合ったり、必要な時には、子どもさんへのしつけなどの観点から、的確なご指摘をしたりしてくださる場面がみられます。幅広い世代の方が一緒に過ごし、互いに影響を受け合いながら、皆にとって良い環境で、書に励んでいただけではないかと、自負しております。これまでの二年半を継続してこられたのも、通ってくださる生徒さんや、先生や仲間、家族のおかげだと本当に感謝しております。私自身が錬成を積んで、自身の腕を上げることがもちろんのこと、それをうまく指導につなげていけるように



努力すると共に、生徒さん達とは、書くことの楽しさを共有していければ…と思っております。今後とも、ご指導よろしくお願いいたします。

「磨った液体と液体墨は混ぜられるの?」

奈良製墨組合 HP 墨のひみつ Q & A より

固型墨はすすと膠を練り合せたものです。液体墨は、膠を使用してつくるものと、膠のかわりに合成樹脂を使用してつくるものがあり、また液体墨として長期に安定させるために薬品を添加し複雑な工程を経て生産します。固型墨と膠を使った液体墨とを混ぜることはできませんが、固型墨のもつ本来の墨の色を求めることはできません。

固型墨と合成樹脂を使った液体墨を混ぜることとは、膠と合成樹脂が化学変化をおこし、凝集してしまい、墨の液として使えなくなり、固型墨と固型墨とを磨り合わせ、新しい墨の色をつくることは差支えありませんが、固型墨と液体墨を混ぜることは、おすすめできません。

奈良製墨組合ホームページ

墨のひみつ Q & A

<http://www.sumi-nara.or.jp/index4.html>

◆ 編集後記 ◆

今年最後の機関紙です。今回は、混陽書道展を中心に掲載しております。受賞者の方々のコメントを拝見しますと、それぞれの思いを知ることが出来ます。思いを知ったうえで作品を拝見いたしますと親しみが湧き、また違う角度から作品を観ることが出来ます。(MK)



守山 ほたるの湯にて
9/25 (月) ~ 10/31 (火)
混陽書道展で過去に展示した一字書を
展示しました。



守山市長から感謝状が授与されました

さんさん守山教室の皆様が長年にわたり守山市役所の市民ロビーに書作品を展示した功績を讃えて感謝状が授与されました。書作品の展示は市役所へ来庁される市民の心を豊かにし「文化のおおりの高いまちづくり」に貢献したことが評価されています。さんさん守山教室では今後もこの活動を継続し書道の素晴らしさを伝えて行きたいとのこと。



今後の予定

- 12/3 (日) 教養講座 書道史 2
- 12/8 (金～日) 飛燕展
- 12/10 (日) 調和体講座
- 12/17 (日) 古筆講座